

第 84 回紫友まち歩き

ビール工場、競馬場、武蔵国府 をあるく

今回のテーマは、ユーミンの「中央フリーウェイ」の「右に見える競馬場、左はビール工場」と校歌「武蔵の国ぞ大いなる」の武蔵国府跡をめぐるまち歩きです。

朝方は涼しかったが、昼からは晴れて風の強い天気の中、ビールの試飲を楽しみ、ほろ酔いで競馬観戦し、当たり馬券が取れば本日は最高の一日になるとの期待をもってまち歩きは始まりました。

日時： 2018年10月6日(土)

集合時間：10時

集合場所：京王線、JR 南武線の倍河原駅改札前

参加者：20名参加

案内人：武馬 025H

懇親会：個室ダイニング忍家 府中駅前南口店

懇親会参加者：18名

歩いた歩数：14,000歩（武馬 025H の歩数計）

<まち歩き>:

■まち歩き行程

倍河原駅 → 無料送迎バス → ビール工場、見学と試飲・ショッピング → 東京競馬場（徒歩15分） → 競馬場入場（入場料200円）、馬場・パドックなどを見学し競馬博物館入場、その後昼食・競馬観戦など自由行動 → 武蔵国衙跡 → 大國魂神社 → ふるさと府中歴史館 → 馬場大門櫓並木 → 懇親会

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

① 倍河原駅：



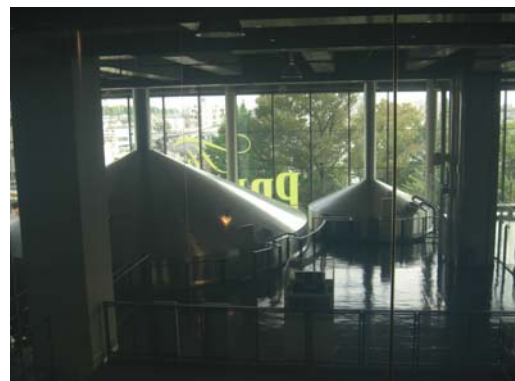
南武線を渡ったところにあるロータリーが送迎バスの待ち合わせ場所。ロータリー中心には、鎌倉幕府の興亡をかけて火花を散らした分倍河原合戦を題材にして制作した馬にまたがる立派な新田義貞公の像がある。



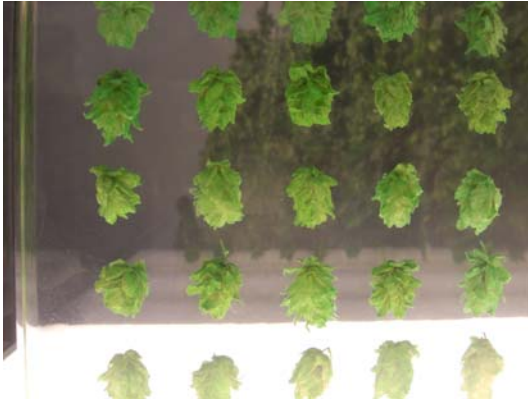
15分にビール工場行きの無料バスが来た。

② ビール工場、見学と試飲・ショッピング：

約70分のビールの製造工程をガイド付きで見学した。



ホップの匂いのかいだり、麦芽を口にしたりした。



麦芽は酒のつまみに良いとの評価もあった。



パッケージングの現場をしばらく見学。最後は、ビールの試飲。短い時間で3杯までOKと言われたが、まだ次があるので2杯で我慢する人が多い。



最後はお土産売店で買い物。そこには、ユーミンの「中央フリーウェイ」のサイン色紙が飾られていた。



中央自動車道をくぐって進む。工場を出たすぐのところに今回のテーマの中央自動車道が見える。左が八王子方向なので、「右に見える競馬場、左はビール工場」と歌っているので、右側にあるJRA 東京競馬場に向かって進むことになる。

③ 東京競馬場：

晴れてきている。東京競馬場までの歩きは暑くってつらかった。西門で入場券 200 円を購入して競馬場に入る。

久しぶりに開催された東京競馬場の馬場の芝は、青々としていてきれいだ。東京競馬場……歩いて、近づき、そして目に入った時の広さと大きさ、芝生の美しさの感動は、初めて見た時にしか味わえないものだと思います。…の感想あり。



パドックで走る前の馬の状態を見る。



東門に向かって歩いて行き、競馬博物館に入場する。各自の好みで見学を始める。ライブシアターは迫力があつた。



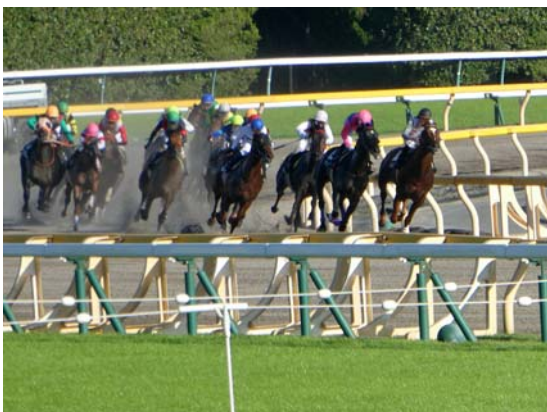
芝生に陣取り、案内人持参のブルーシートを数人がかりで敷く。強い風でしばらく苦戦する。案内人と数名が残り、他の人たちは昼食を食べに建物の中に行く。



昼食後から競馬を楽しむ。初心者が多いので、買い方なども教わっている。シートの上で横になり、しばしの昼寝を楽しむ人もいる。競馬場の芝、適度に聞こえる放送と歓声は昼寝に最高・太陽を浴びて気分最高でした。



爆走する馬の迫力を楽しむことができた。



戦果は、ほぼ全滅。単勝の本命をとった人が一人と、案内人が一つ当てたくらいであった。単勝を当てた人の換金のところを写真に残す。



タラレバの話だが、10レースで馬場を見てきた人が、1, 4, 15の馬が良かったと耳打ちする。残念ながら購入できなかったが、15番単勝で1万1千円だった。さらに、3連単では、15-6-8で345万円の大当たりだった（100円購入で、345万円が戻ってくるということ）。

東京10R 西湖特別		払戻金	
単勝 15	11,680円	枠連 3-8	660円
15	2,180円	6-15	15,090円
複勝 6	340円	ワイド 8-15	25,240円
8	630円	6-8	3,210円
馬連	6-15		70,590円
馬単	15-6		165,880円
3連複	6-8-15		370,570円
3連単	15-6-8		3,459,140円

11レースを終了後に、シートを片付け、正門出口から競馬場におさらばする。競馬的には、螻蛄(おけら)街道をトボトボと歩いて帰って行く状況だが、多分被害も少ないのだろう、タラレバの話をしながらか国魂神社に向かって明るく歩いて行く。

④ 武蔵国衙跡：

武蔵国府跡 国衙跡地区（国司館地区）の朱の柱が見えてきた。ここ府中には武蔵国府が奈良時代

の初め頃から平安時代の中頃にかけて置かれ、武蔵国の政治・文化・経済の中心地として栄えていたという。特に柱の他には見るものはなかった。



⑤ 大國魂神社：

武蔵国の総社。



人出が多い。何かイベントがあったのかも。結婚式も行われていた。記念写真を撮る。



⑥ ふるさと府中歴史館：

ふるさと府中歴史館を見学する。疲れているのか椅子に座って、ビデオで万葉集の説明をしばらく見ている人がある。5時になったので馬場大門櫓並木を楽しみながら懇親会場に向かう。

夕方なのにまだ暑い。

⑦ 馬場大門櫓並木：

このケヤキ並木は、大國魂神社の参道でもあり、約 150 本のケヤキが全長約 500m の馬場大門に沿って並木を構成している。ケヤキ並木として唯一の国指定天然記念物である。大國魂神社と府中の大けやきの並木の軸線・・・この都市が千五百有余の歴史深い文化ゾーンであることに感銘する人あり。



⑧ 懇親会：

安いビールは発泡酒のようなので、本物のビールが飲める飲み放題に切り替える。いつものように楽しい懇親会となる。



途中、今後のまち歩きについての説明もされる。

以上